

健康経営優良法人（ホワイト500）に4年連続で選定

株式会社東海理化（以下、東海理化）は、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2023」に選定されました。2020年から4年連続での選定となります。



健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。東海理化は、「健康宣言」を制定し、お客様や地域、社員と家族を愛する会社であるために、社員が笑顔で元気に働くことができる会社作りに日々取り組んでいます。こころと体の健康は、安心安全に働くための源であり、社員とその家族が幸せに生活するために重要なことです。また、人生100年時代が間近となっており、高齢になっても健康でいきいきと働くことが大切だと考えます。

[東海理化の健康経営に対する主な取り組み]

1. 健康チャレンジ10

生活習慣の改善を目的として、社員一人ひとりが10項目（①適正体重 ②朝食 ③飲酒 ④間食 ⑤禁煙 ⑥運動 ⑦睡眠 ⑧ストレス ⑨健康イベントに参加 ⑩笑顔）の生活習慣改善にチャレンジする活動です。全社員へアンケートを行い、健康意識や生活習慣の改善状況を確認しています。

2. 疾病の発生予防と運動習慣の定着支援

2020年度～職場対抗ウォーキングイベントを実施しています。アプリを活用し、多くの社員が参加しています。イベント期間中は職場対抗の歩数ランキング制を実施。ウォーキングに積極的に取り組むきっかけとなっており、運動習慣を定着化させ将来を見据えた疾病発生予防を目指しています。

3. 労働衛生月間活動

生活習慣改善を目指した取り組みとして、「労働衛生月間」には各工場食堂で月間特別ヘルシーメニューを提供しています。また運動、食事、歯科、睡眠についての健康情報を様々な方法で社内展開し、健康意識を高める活動を行っています。

今後も当社は、社員参加型のイベントを増やすことで、社員とその家族へ笑顔あふれる活動を通して健康意識を高めていきます。